

令和5年7月18日

令和5年度 第1回 読書教育推進委員会分科会 議事録

1 分科会長挨拶

今回推進計画を見直す時期なので、子どもたちの将来の基盤になるような読書を推進していけたらと感じています。ご協力をお願いします。

2 委員紹介

3 子どもの読書活動の現状調査について

(事務局)

(1) 乳幼児を持つ保護者の読書に関する意識調査

実施時期：令和5年6月26日～7月2日

実施方法：渋谷区LINE公式アカウント

対 象：6歳以下の子どもを持つ保護者

回答者数：1,875人 乳幼児の保護者向け調査

①1か月の読書数（読み聞かせを含む）について

11冊以上が753人（43.2%）と回答者数の40%を超える方が11冊を超えて読んでおり、1か月に4冊以上を読んでいる方は78.1%でした。一方0冊の方が69人（4%）となっており差があります。

②本の手配について

本を購入している方が802人（46%）と最も多いが、次いで図書館利用が378人（22%）、少数ではありますが子育て施設で読んでいる方が132人（8%）となっており、子育て施設など集まっている場所に読書スペースがある環境も必要なことが伺えました。電子図書の利用は民間サービスと渋谷区電子図書館を合わせても28人（2.9%）と少なく、紙媒体の本と併用して電子図書を利用することの良さなどを周知する必要性も伺えました。

③図書館の利用について

利用している方は1か月に2、3回が574人、週に1、2回が208人、毎日が11人で合わせて、793人（45.6%）でありました。

利用していないが今後利用したい方は669人（38.7%）であり、このことから、乳幼

児が楽しめるおはなし会など行事の充実や親子で本をめくりながら過ごせるようなスペース等の環境整備の必要があります。

④図書館を利用しない理由について（複数回答可）

本の返却が面倒という理由が多く、241人（44.5%）、次いで遠いという理由が192人（35.4%）で、子どもがいると周りに気を使うが72人（13.3%）でありました。遠いという理由の方の在住場所は、恵比寿方面、上原方面、代々木・千駄ヶ谷方面が多くありました。

⑤図書館にあったらよいと思うことについて（複数回答可）

お子さんの年齢に回答を入れていただいた方のご希望は、会話ができる親子閲覧スペース434人（80.1%）、絵本・児童書の充実296人（54.6%）、飲食コーナー144人（26.6%）、と「会話ができる親子閲覧スペース」を希望する人が多くなっていました。

（2）児童及び生徒の読書の状況に関する調査

実施時期：令和5年6月30日～（7月21日）

実施方法：Forms(タブレット配信)

対 象：区立小学生・中学生

（事務局）

入力が済んでいない学校があり集計中につき数字は出せませんが傾向を説明します。

①1か月の読書数について

読書の状況について、1か月に4冊以上読書をしていることについて、平成28年度調査と比較すると小学生の読書冊数が減っていますが中学生の読書冊数は増えていきます。また1か月に一冊も本を読んでいない小・中学生は平成28年度調査と比較すると小・中学生ともやや改善されています。

しかしながら、令和4年度東京都が行った読書活動取組状況調査における不読率（小学生4.4%、中学生10%）と比較すると渋谷区の不読の割合が高く改善を進める必要があります。

②本を読まない理由について

小・中学生ともに本を読みたいと思わないが多く、次いで小学生は面白い本がない、中学生は時間がないとなっています。

③本を読む理由について（複数回答可）

小・中学生ともに面白いからが多くなっています。

④本を読む場所について（複数回答可）

小・中学生とも自分の家が多く、次いで学校となっており、学校で一定本を読む時間が確保されていることが伺えます。

⑤学校図書室（授業以外で）の利用について

小・中学生とも学校図書室の利用については、あまり利用しないが多くなっています。

⑥区立図書館の利用について

小・中学生とも区立図書館を利用しないが多くなっています。

⑦どんな本を読んでいるかについて（複数回答可）

小学生は、まんが、ものがたりや小説、趣味の本となっており、中学生は、ものがたりや小説が、まんが、趣味の本の順となっています。

⑧電子図書の利用について

電子図書の利用について、小・中学生とも利用したことがあるが半数を超えています。

⑨電子図書館が読みやすいかどうか

小・中学生ともに、わからないという回答があり効果的な使い方の説明が必要となっています。

⑩電子図書館で読みたい本について

小・中学生とも幅広いジャンルからの希望があります。

（3）高校生の読書の状況に関する調査

実施時期：令和5年7月3日～（7月21日）

実施方法：渋谷区 LINE 公式アカウント

対 象：区内在住の高校生

（事務局）

回答数が少ないため期間を延長しています。回答数が少ないことから読書の関心の低さが考えられます。

(4) 各所管の事業実施状況について

(事務局)

7月21日までに提出いただくよう依頼中です。

4 子ども読書活動推進計画の取組状況（平成31年度～令和5年度）について

(図書館委員)

各委員どのような取組をしていますでしょうか。現場の様子など教えていただきたいです。

(小学校委員)

全学年で学校図書室を使用することはなかなか困難ですが、図書館専門員と教諭とのコミュニケーション、図書館専門員の企画により本に親しむような活動があります。

(中学校委員)

図書館専門員の工夫があり、最近の図書やしゅやおすすめの本50をPRしています。放課後はクラブ活動などで忙しい状況です。

(保育園委員)

保育士がPOPを作成し、保護者に読書に関心が向くようPRしています。図書館リサイクルからもらった児童書・絵本を貸出しています。

(幼稚園委員)

毎日読み聞かせをしており絵本ノートもつけています。

(図書館委員)

第一次策定で外国語図書を充実させていくという記載がありましたが、学校図書館ではどのような状況でしょうか。

(小学校委員)

徐々に増やしています。外国語図書を使用した読み聞かせは喜んでくれています。

(指導主事委員)

渋谷区民の多様性からいろんな言語の図書に対応していきたいと考えています。

(図書館委員)

令和3年度から中央図書館でりんごの棚を設置しており誰でも読みやすい図書を紹介しています。令和4年度から全館においてりんごのマークを表示しさわってわかる図書や絵で見てわかる図書、りんごの棚には外国語図書・絵本も紹介しています。今後は幼稚園、保育園、小・中学校にも周知していきたいと思っています。

5 第二次計画への委員からの施策案について

(事務局)

以下のアイデアをいただいています。

- ・電子書籍を導入してはという提案が6件

- ・移動図書館（保育園・小学校）を実施してはという提案が2件
- ・国語科の読みの授業と連携した読書指導が1件
- ・図書を活用した授業等の研修が1件
- ・図書館を親子の居場所にする取組が1件
- ・読書履歴データの利活用が1件
- ・読み聞かせ（図書専門員や保護者、教員による）の取組が3件

（図書館委員）

どの施策案も現場の読書推進につながる活動だと思いますので施策案に盛り込んでいってほしいと思います。

（中学校委員）

電子図書は取り入れた方が読書の推進になると思います。

（事務局）

本日、第二次計画策定への基本目標についてご意見を伺いたいと思います。

第一次策定では、次の目標でした。

- （1）子供の発達段階に応じた読書機会の提供と環境の整備
- （2）幼稚園、保育園、小・中学校、図書館各機関における読書環境の整備及び読書活動の充実並びに施設相互間の連携
- （3）子供の読書活動の重要性について広く普及・啓発を行う
- （4）子供読書活動推進のための人材育成

第二次における基本目標は、次のとおり検討しています。

- （1）発達段階に応じた読書機会の提供
- （2）子どもの読書活動を支える環境整備
- （3）子ども読書活動の重要性を広く普及・啓発
- （4）子ども読書活動推進のための協力体制

第一次策定では、目標の1で機会の提供と環境整備、目標の2で各機関の整備と充実、さらに施設間の連携と複合的になっていました。確かに複合的な取組は必要ですが第二次策定では、目標1 機会の提供と目標2 環境の整備と分けて目標を設定した方がわかりやすいように思います。また、第4の目標は人材育成になっていましたが、推進体制の整備のため協力体制が必要と考えます。

（中学校委員）

読書機会の提供ではなく充実ではいかがか。

（事務局）

なかなか本日時間が限られているため、協議しきれないところがあります。本日の内容

を8月にはまとめて事務局からお送りしますので、改めてご確認いただきご意見をいただければと思います。

(事務局)

読書調査の報告と、第二次策定の目標・施策案をとりまとめ資料をお送りしますので、ご確認いただきたいと思います。

6 計画策定スケジュールについて

- 9月4日(月) 第2回読書教育推進委員会(調査結果と第二次基本方針案)
- 10月17日(火) 第2回分科会(中間まとめに向けた整理)
- 11月14日(火) 第3回読書教育推進委員会(中間まとめ)
- 12月 パブリックコメント実施(区ニュース12/1号)
- 1月22日(月) 第3回分科会(パブリックコメントの意見・回答等)
- 2月27日(火) 第4回読書教育推進委員会(策定内容の確認)
- 2月 各所管の事業調査②
- 3月 計画策定